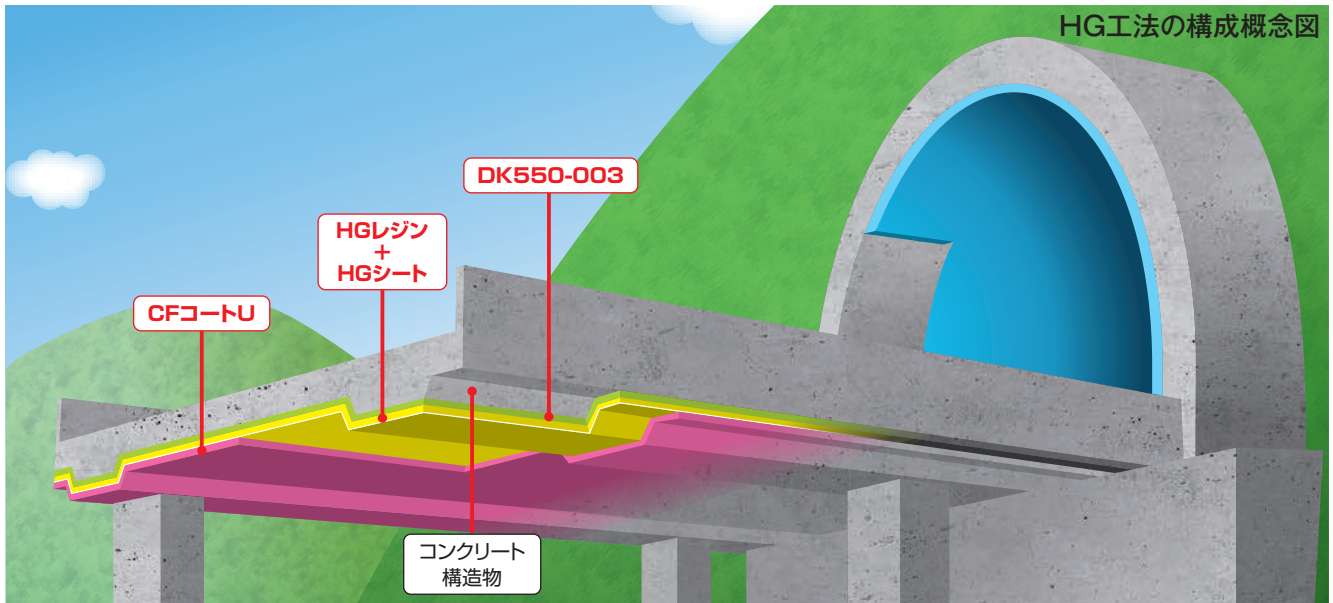


デンカのはく落対策工法

デンカHG工法

NEXCO構造物施工管理要領はく落防止規格適合工法
NEXCOトンネル小片はく落対策工 適合工法

デンカHG工法は、不織布/メッシュ積層シート《デンカHGシート》とアクリル系樹脂《ハードロックⅡ》の組合わせにより、省工程施工が可能であり、強靱なはく落防止性能を発揮します。



特長

工期短縮

- 硬化の早いアクリル系樹脂を使用しますので施工時間の短縮が可能、時間規制のある現場での施工に最適です。
 - 特殊な不織布付きシートを用いプライマー塗布～下塗り・シート接着・含浸・脱泡まで一連の作業を連続的に施工できます。^{*1}
- ※1 下地処理や断面修復等の工程は除きます。

低温でも素早く硬化

- アクリル系樹脂は低温硬化性に優れているので寒冷地や冬季施工にも適用可能です。

高い安全性

- 延焼性・自己消火性試験、ガス有害性試験で安全性を確認済みです。
- 皮膚刺激性の低い原材料を使用しています。

標準塗布量

材料名	標準塗布量	次行程待ち時間	荷姿	
コンクリートプライマー	デンカDK550-003	0.15kg/m ² ^{*2}	30分～7日	5kgセット 30kgセット
不陸修正 接着剤塗布	デンカHGLレジン	0.6kg/m ² ^{*3}	デンカHGLレジンの 可使用時間内	5kgセット
シート	HGシート	—	—	1m×100m ^{*6}
トップコート ^{*4}	CFコートU	0.15kg/m ²	1日以上 ^{*5}	15kgセット

※2 下地処理状況により塗布量が変動します。

※3 不陸状況により塗布量が増加する場合があります。

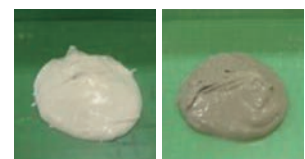
※4 トンネル部紫外線が当たらない箇所は省略。

※5 低温環境下（約5℃以下）の際は表面タックが残るため、トップコート工程まで2～3日要します。

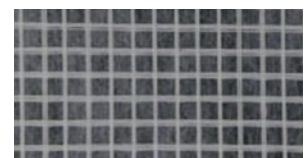
※6 シート幅は+α余長があります。

使用材料

- デンカ HG レジン A 剤 / B 剤

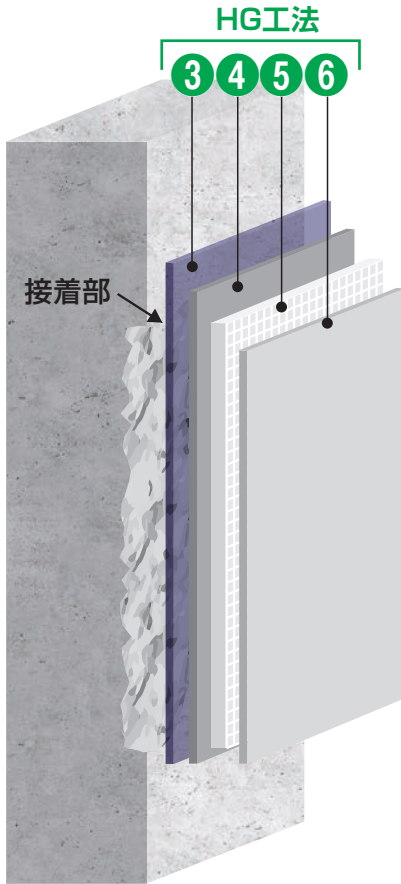


- デンカ HG シート



施工手順

取り付け例



1 下地処理



ウォータージェット・ディスクサンダー等

2 欠損部修復段差修正



「デンカ RIS シリーズ」
「デンカダイナライト不陸修正用」
(必要に応じ)

3 プライマー塗布



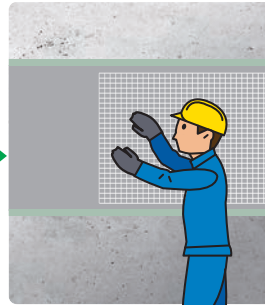
「DK550-003」
下地により吸込みが異なる為
30分以上待ち確認する事

4 接着剤下塗り

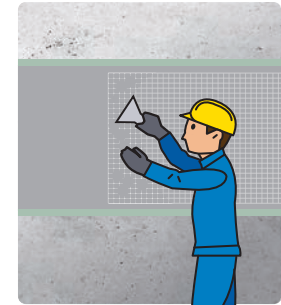


「HG レジン」

5 HGシート接着



HGシート接着剤含浸脱泡

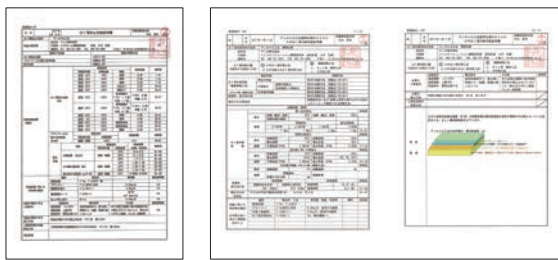


(状況に応じ上塗り 0.1~
0.2kg/m² 追加塗布)

物性表

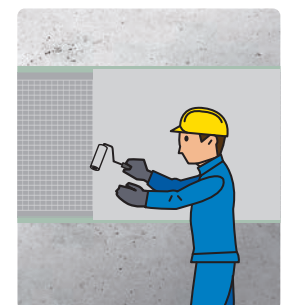
項目	試験値	試験方法
はく落防止性能	2.7kN	JSCE-K 533 (23℃測定)
プライマー ひび割れ含浸性能	2.9N/mm ²	試験法 426
付着性能	3.6N/mm ²	試験法 735

性能試験結果



NEXCO 構造物施工管理要領はく落防止規格適合工法
NEXCO トンネル小片はく落対策工 適合工法

6 トップコート塗り



※トンネル部紫外線が当たらない箇所は省略



警告



自己発熱性 水生生物に有害 かぶれ注意

●ハードロックIIは消防法の危険物に該当しますので作業場は火気厳禁としてください。●一度に多量の接着剤を硬化させると激しい発熱が生じますので注意してください。●皮膚や衣服に付着したりするとかぶれるおそれがありますので早めに石けんで洗ってください。万一、かぶれた場合には医師の手当を受けてください。●作業場所は換気を良くし、保護眼鏡、保護手袋、必要に応じて有機ガス用マスクなどの保護具を着用してください。●目に入れたり、飲んだりとは絶対にしないでください。誤って目に入った場合、15分以上流水で洗浄し、医師の手当を受けてください。また、誤飲した場合、吐かせて医師の手当を受けてください。●ハードロックIIは湿気や金属との接触を避け、密栓のうえ冷暗所に保存してください。●廃棄する場合は、廃棄前にA/BII剤を少量ずつ混合し硬化させてから廃棄してください。また、混合し硬化した(硬化中の)樹脂は廃棄するまで水の中に浸漬させてください。●接着剤が付着した可燃物(ウェス、段ボール、養生シート等)、注入用器具も廃棄するまで水に浸漬させてください。●本製品の硬化物をディスクサンダー等で研磨した場合、研磨した粉末を集めたまま放置すると自然発火するおそれがあります。積もった研磨粉は、掃除機は使用せず、ほうき等で集めた上、廃棄するまで十分な水に浸けておき、早めに専門の廃棄物処理業者に処理を委託してください。

◇データ等記載内容についてのご注意

- 本記載のデータ等記載内容は、代表的な実験値や調査に基づくもので、その記載内容についていかなる保証をなすものではありません。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するかどうかおよび安全性について貴社の責任においてご確認ください。
- 本記載の当社製品およびこれらを使用した製品を廃棄する場合は、法令に従って廃棄してください。
- ご使用になる前に、詳しい使用方法や注意事項等を技術資料・安全データシートで確認してください。これらの資料は、弊社の担当部門にご用意しておりますので、お申しつけください。
- 本書の記載内容は、新しい知見により断りなく変更する場合がありますので、ご了承ください。

自然発火の注意

- ディスクサンダー等による研磨粉は、ほうき等で集めて十分な水に漬けて廃棄してください。
- 樹脂の付着したウェス、ダンボール、ローラー、刷毛等は水に浸漬させて廃棄して下さい。
- 硬化時に発熱を伴います。